

## 国語科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)  
 6校時 14:25～15:10  
 学校名 小学校  
 対 象 第6学年 30名  
 会 場 教室  
 授業者 〇〇 〇〇

1 単元名 提案文で、変える学校生活 ～SDGsの視点から～  
 「私たちにできること」(光村図書 6年)

### 2 単元の目標

- ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。

〔知識及び技能〕(1)カ

◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ

- ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ア

- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

〔学びに向かう力、人間性等〕

### 3 本単元における言語活動

自分たちの学校生活をより良いものにするために、提案する文章を書く。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕B(2)ア)

### 4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 ((1)カ)	① 「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 (B(1)イ) ② 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 (B(1)ア)	① 粘り強く、文章全体の構成や展開を考え、学習課題に沿って提案する文章を書こうとしている。

## 5 指導観

### (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年3月告示)、国語〔第5学年及び第6学年〕 2内容〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと(1)

- ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
- イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。

を受けて設定した。

本単元で児童に身に付けさせたい力は、「自分の考えを明確にし、具体的な内容を示して文章を構成する力」である。この力を身に付けさせるため、本単元では「SDGsに関連して学校生活における課題について考え、それを解決するための具体的な提案を文章にまとめる」という言語活動を設定した。

児童は第5学年の「あなたは、どう考える」の学習で意見文を、「みんなが過ごしやすい町へ」の学習で調査報告文を書いている。その際の「書くこと」における重点指導事項は、それぞれ(1)アとウ(目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。)であり、イの文章構成に重点を置いて指導するのは本単元が初めてである。本単元で取り扱う提案文というスタイルは、「現状の課題」、「なぜその課題に着目したのか」、「課題について調べたこと」、「課題解決方法の提案内容」、「提案が実現した時の効果」など、書き記す項目が多岐にわたる。読み手に提案内容を納得してもらい、課題解決に向けた行動を実現してもらうためには、文章により説得力をもたせることが重要となる。児童は第5学年においても、説明的な文章の学習や、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の学習を通して、「説得力」というものを強く意識して学びを積み上げてきた。その中で、説得力をもたせるためには、「立場を明確にすること」、「具体的な事例や自分の経験を述べること」、「主観的ではなく客観的な事実(データ等)を提示すること」などが大切であると理解してきている。今回は、自分の提案を抵抗なく受け入れてもらうために、どのような構成で記述すれば読み手の思考に訴え掛けることができるのかを児童に考えさせたい。

### (2) 児童観

前述のとおり、児童は自分の主張に説得力をもたせるということについては非常に意識が高い。先日行った「話すこと・聞くこと」における「聞いて、考えを深めよう」の学習でも、具体的な事例を挙げて自分の考えを主張するという力は、ほぼ全ての児童が身に付けられていた。しかし、その話し合いの中では説得力を意識するあまり、次第に非現実的な事例を挙げてまでも相手を納得させることに注力する姿勢も見られた。話し合いは、リアルタイムで相手を納得させる事例を思いついて話さなければならないこともあるため、自分の考えが論理的であるかどうかを判断する時間が少ない。話し合いの後で冷静になると、自分が話していたことが屁理屈になっていたと振り返る児童もいた。「書くこと」においては、記述をする前に自分の論理展開をじっくりと思考することができる。それを踏まえて、本単元では自分の提案内容が妥当なものなのかを判断させたい。

また、説明的な文章の「時計の時間と心の時間」学習では、筆者の存在を強く意識させて学習を進めた。筆者に焦点を当てることで、文章を通して筆者と読者である自分たちを繋ぎ、「説得力」は読み手の存在があって初めて必要となるものであるということを実感させた。その学習を生かし、自分が書いた提案文で読み手を納得させ、行動を変えることで学校生活を変えるという相手意識・目的意識をもたせていく。

### (3) 教材観

児童は第5学年の3学期に、総合的な学習の時間でSDGsについて学んでいる。17の目標の中から興味をもったものを一つ選び、現状や目標達成のための手立てなどを調べた上で、自分自身の行動宣言をポスターにまとめるという活動を行った。SDGsについては、そうした学習経験に加え、ここ数か月でテレビでも盛んに取り上げられているため、児童の関心も高い。本単元では、その経験や児童の意欲を生かし、学校の中で取り組める目標達成のための手立てを提案する文章を書く。17の目標の中には、児童の生活とは結び付きが感じられにくいものもあるため、資源やエネルギー、環境などに関連して、児童が課題を見付けやすいものを取り上げるようにする。例えば、給食の残食については「目標2 飢餓をゼロに」、自分たちが日頃使っている文房具やあらゆる雑貨などは「目標12 つくる責任 つかう責任」、節電については「目標13 気候変動に具体的な対策を」に関連する。また、複数の目標はそれぞれ独立しているものではなく関連し合っているため、解決したい課題がどの目標に相当するのかわけではなく、17の目標について考える中で、身の回りの課題を見出せるようにする。そのため、単元の導入前の活動として、朝読書などを通してSDGs関連の本を読んだり、ユニセフなどのホームページで動画を視聴したりする。児童自身の興味関心を生かすこと、自分の提案から学校生活を変えることができるようにするという目的意識をもたせることで、提案文を書くことへの意欲を高め、児童が自分の考えに説得力をもたせる必然性を感じられるようにする。

## 6 年間指導計画における位置付け

時期	単元名・「教材名」	重点指導事項
6月	言葉を選んで、短歌を作ろう 「たのしみは」	オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
6月	提案文で、変える学校生活 ～SDGsの視点から～（本単元） 「私たちにできること」	イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
11月	表現の工夫をとらえて読み、 それをいかして書こう 「日本文化を発信しよう」	イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
12月	書き表し方を工夫して、 経験と考えを伝えよう 「大切にしたい言葉」	ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
2月	伝えたいことを明確にして書き、 読み合おう 「思い出を言葉に」	ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 カ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

7 単元の指導計画と評価計画（全 10 時間）

過程	時	目標	学習内容・学習活動	評価規準 (評価方法)
学習目的の理解・見通し	第1時	本単元で身に付けたい力を知り、学習の見通しをもつことができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 SDG s の目標の中から、自分たちの学校生活に身近なものについて考える。</li> <li>2 教師が書いたモデル文を読み、学習の見通しをもつ。</li> <li>3 学習課題、「この単元で身に付けたい力」を知る。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">SDG s の視点から、学校生活をより良くするための提案文を書こう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ～この単元で身に付けたい力～                      ・次の力を身に付けて、提案する文章を構成できるようにする。                      ★1 身の回りの現状や問題点を整理し、提案の理由を明確にする力。                      ★2 何を行うのか、提案の具体的な内容を示す力。                      ★3 提案が実現できたら学校生活がどのように変わるのか、効果を示す力。                 </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 提案文を書くために必要な過程を考え、学習計画を立てる。</li> <li>5 本時の振り返りをする。</li> </ol>	
		題材の設定、情報の収集、内容の検討	第2時	目的や意図に応じて、身の回りの問題の中から書くテーマを決めることができる。

<p>題材の設定、情報の収集、内容の検討</p>	<p>第3時</p>	<p>目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりすることができる。</p>	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>提案のために必要な情報を集めよう。★1</p> </div> <p>2 それぞれのテーマに基づいて、提案のために必要な情報を探して集めたり、そのための準備をしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の資料</li> <li>・インターネット</li> <li>・インタビュー</li> <li>・校内の様子の観察 など</li> </ul> <p>3 集めた情報を持ち寄り、報告し合う。</p> <p>4 本時の振り返りをする。</p>	<p>イ-②</p> <p>「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(ワークシートの記述・発言・班活動の様子)</p>
<p>題材の設定、情報の収集、内容の検討</p>	<p>第4時・第5時(本時)</p>	<p>問題点や解決方法などについて、具体的な事実や考えを出し合って話し合うことができる。</p>	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>提案するテーマの現状と問題点を確認、その解決方法を考えよう。★1、★2、★3</p> </div> <p>2 提案するテーマについての現状と問題点を明らかにし、解決方法を考える。</p> <p>3 それぞれの考えを持ち寄って班で話し合い、提案内容を決める。</p> <p>4 本時の振り返りをする。</p>	<p>イ-②</p> <p>「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(ワークシートの記述・発言・班活動の様子)</p>
<p>構成の検討</p>	<p>第6時</p>	<p>提案する文章として筋道の通ったものになるよう、文章全体の構成を考えることができる。</p>	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>提案する文章の構成を考えよう。★1、★2、★3</p> </div> <p>2 教師が作成したモデル文や教科書を読み、構成の仕方の例を確認する。</p> <p>3 自分たちの提案内容が、説得力をもって伝わるようにするための構成について話し合う。</p> <p>4 班で、構成メモを書く。</p> <p>5 本時の振り返りをする。</p>	<p>イ-①</p> <p>「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(ワークシートの記述・発言・班活動の様子)</p>

<p>考えの形成、記述</p>	<p>第7時・第8時</p>	<p>目的や意図に応じて、自分たちの考えが伝わるように、見出しや箇条書きなど書き表し方を工夫して、下書きを書くことができる。</p>	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>班で分担して、提案する文章の下書きを書こう。</p> </div> <p>2 班で、下書きを書く分担を決める。</p> <p>3 提案する文章を書くときに気を付けることを確かめる。</p> <p>4 分担に沿って下書きをする。</p> <p>5 本時の振り返りをする。</p>	<p>ア-① 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(ワークシートの記述・発言)</p> <p>ウ-① 粘り強く、文章全体の構成や展開を考え、学習課題に沿って提案する文章を書こうとしている。(ワークシートの記述・班活動の様子)</p>
<p>推敲</p>	<p>第9時</p>	<p>下書きを班で読み合い、文章全体の構成や書き表し方をより良くすることができる。</p>	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>班で下書きを読み合い、文章全体の構成や内容、書き方を検討して清書しよう。</p> </div> <p>2 提案の理由が明確になっているか、具体的な内容かなど、検討の観点を出し合う。</p> <p>3 観点に沿って班で下書きを読み合い、修正点を明確にする。</p> <p>4 提案書として清書し、仕上げる。</p> <p>5 本時の振り返りをする。</p>	<p>ウ-① 粘り強く、文章全体の構成や展開を考え、学習課題に沿って提案する文章を書こうとしている。(ワークシートの記述・発言・班活動の様子)</p>
<p>共有</p>	<p>第10時</p>	<p>文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、感想を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけることができる。</p>	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>提案書を読み合って、良いところを伝え合おう。</p> </div> <p>2 「説得力があるか」という視点で他の班の提案書を読み、身に付けた力に沿って良い点を伝え合う。</p> <p>3 他の班の良い点を報告したり、自分たちの提案書の良い点を共有したりする。</p> <p>4 学級全体で各班の提案書の良さを共有し、単元全体を振り返る。</p>	

## 8 指導に当たって

### (1) 身に付けたい力の自覚

本学級では、昨年度から継続して、単元の導入で児童と共に指導事項に基づいた「この単元で身に付けたい力」を確かめている。自分たちがこれまでにどのような力を身に付けてきたのか、自分たちが今できないことは何か、単元を通してどのような力を身に付けていきたいのかを自覚させることで、児童が見通しをもって学習に取り組むことができる。また、一時間ごとに、本時ではどの力に焦点を当てて学ぶのかを導入で確認し、授業の最後にその力を身に付けることができたかという視点で振り返らせる。その活動を繰り返すことで、児童自身が能力の定着状況を自己評価し、自らの学びを調整していくことができると考える。

～この単元で身に付けたい力～

・次の力を身に付けて、提案する文章を構成できるようにする。

★1 身の回りの現状や問題点を整理し、提案の理由を明確にする力。

★2 何を行うのか、提案の具体的な内容を示す力。

★3 提案が実現できたら学校生活がどのように変わるのか、効果を示す力。

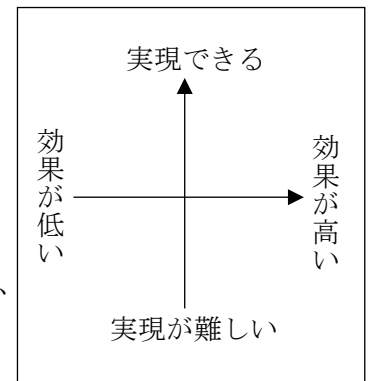
### (2) 班での話し合い活動

本学級の児童は、これまでの学習を通して対話の有用性を自覚してきた。特に、文学的文章の学習において、多様な解釈が考えられる場面で対話を取り入れることにより、自分の考えを再認識したり、広げたりすることができるという良さを実感している。本単元でも、班で一つの提案文を作成するため、児童は常に意見交換をしながら学習を進めていくことになる。話し合いの際には、必ず児童一人一人が自分の考えをもつ時間を設け、各自が意見をもって話し合いに臨めるようにする。また、話し合いの後には、話し合いの内容を生かして再度自分の考えをまとめさせる。初めの自分の考えを、話し合いを通して再認識したり、広げたり、深めたりできるということを、児童自身に実感させながら学ばせたい。

### (3) 付箋やベクトルシートの活用

児童一人一人の多様な考えを整理してまとめる思考ツールとして、付箋やベクトルシートを活用する。児童はこれまでも、文章構成を考える際や、班で話し合って意見をまとめる活動において、これらを活用して学習している。情報の収集の段階や内容の検討段階で付箋に一つずつ情報や考えをまとめ、それらを話し合いで提示し合う。同様の考えをもつ児童がいれば、付箋を分類して整理することができ、文章構成を考える際には、考えを提示する順番について付箋を操作することで具体的に考えることができる。

また、本単元ではベクトルシートを話し合いで活用する。これにより、児童が考えをまとめる観点が明確になる。そして、主観的ではなく客観的で公平な観点で考えることにより、導き出される考えに一層説得力をもたせることができる。



### (4) 教師が作成したモデル文の活用

単元の導入で、児童に教師が作成したモデル文を提示する。初めにモデル文を読むことで、児童がこの単元で行う学習活動に見通しをもつことができる。また、児童自身にこの単元で「何ができるようになるのか」という身に付けたい力を自覚させることができる。教科書にもモデル文は掲載されているが、全文は示されていない。さらに、本単元のテーマや児童の実態に合ったものを提示しなければ、児童は活動に取り組みにくくなる。そのため、教師が作成したモデル文を活用した。また、作成に当たっては、児童が取り上げないような話題を例とした。これは、児童が考えるような話題を選んでしまうと、結局は教師の文章の真似となってしまう、児童自身が能力を身に付けて発揮したり、達成感を味わったりすることができなくなってしまうからである。

9 本時（全 10 時間中の第 5 時）

(1) 本時の目標

問題点や解決方法などについて、具体的な事実や考えを出し合って話し合うことができる。

(2) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点 配慮事項	評価規準（評価方法）
導入 5分	<p>1 前時の振り返りをする。</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に各自で現状や問題点、解決方法をまとめた付箋を参照させる。</li> <li>・本時のめあてが、「本単元で身に付けたい力」の何に当たるのかを確認する。</li> </ul>	
<p>提案するテーマの現状と問題点を確認し、その解決方法を考えよう。★1、★2、★3</p>			
展開 35分	<p>3 班で各自の情報を持ち寄り、提案するテーマの現状と問題点を明確にする。</p> <p>4 班で具体的な解決方法を話し合い、提案内容を決める。</p> <div style="text-align: center;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で各自が書いた付箋を出し合い、現状や問題点を共有させる。付箋を分類したり関係付けたりしながら、班で考えをまとめさせる。</li> <li>・「1階の水道の水が出しっぱなしになっていることが多い。」 「高学年の給食の残食が多い。」など、提案の相手意識につながるよう、具体的に問題点を認識させる。</li> <li>・「誰に」「どのような提案をすれば問題解決につながるか」を意識し、考えを明確にさせる。</li> <li>・左記のベクトルシートに各自で考えた解決方法を書いた付箋を出し合い、「実現できるか」「効果が高いか」という観点で提案内容を話し合わせる。</li> <li>・シートには自由に書き込みをさせ、思考を整理させる。</li> <li>・提案内容は、提案文の説得力を増すために2～3点挙げるようにする。</li> </ul>	<p>イ-② 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。（ワークシートの記述・発言・班活動の様子）</p>
まとめ 5分	<p>5 本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてに沿って、「この単元で身に付けたい力」を付けることができたかを振り返り、ワークシートに書かせる。</li> </ul>	



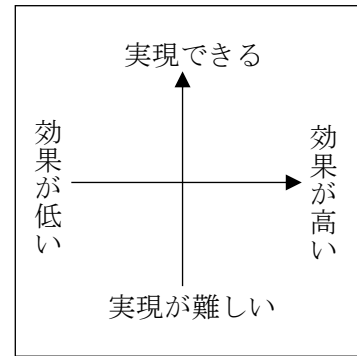
### (3) 板書計画

提案文で、変える学校生活 ～SDG sの視点から～

**めあて** 提案するテーマの現状と問題点を確かめ、  
その解決方法を考えよう。★1、★2、★3

- ★提案が具体的で実現可能か  
→難しいのなら、どうすれば実現できるか
- ★実現できたら、学校生活がどのように変わるのか

**ふり返り**



### (4) 授業観察の視点

- ア 児童自身に「身に付けたい力」を自覚させながら学習を行うことは、児童が主体的に学ぶために有効であったか。
- イ 班での話し合い活動に付箋やベクトルシートを用いたことは、児童が自身の考えを深めたり、思考を整理したりするために有効であったか。